



Suzuyo Shoji Co.,Ltd
1-3 Sakae-cho,Aoi-ku,Shizuoka-city
420-0859 Japan
平成27年2月9日

鈴与商事ニュースリリース

農業水利施設を活用した小水力発電設備からの電力買い取りについて

鈴与商事株式会社（本社：静岡市清水区入船町11-1／本部：静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル／資本金：20億円／代表取締役社長：脇本省吾）は、静岡県として初めて取り組む農業水利施設を利用した小水力発電事業にて発電された電力を買い受けることとなりましたのでお知らせいたします。

静岡県が事業推進する西方発電所（菊川市／完成予定：平成28年3月）および伊達方発電所（掛川市／同：平成28年6月）で発電された電力を、同施設を管理・運営する大井川右岸土地改良区（菊川市加茂4905-2／理事長：太田順一（菊川市長））から鈴与商事が買い受け、新電力事業における電力販売用の電源として活用し、静岡県内の事業所・施設等へ供給する予定です。

小水力発電は、太陽光発電や風力発電などと並び、CO2を排出しないクリーンなエネルギーとして近年注目を浴びておりますが、天候や昼夜を問わずに安定した発電が可能なことから、太陽光発電と比べても設備利用率が高く、水資源が豊富な静岡県でも、1,200kmにも及ぶ基幹的な農業水利施設への小水力発電の導入には大きな期待が寄せられておりました。

本件は静岡県が事業主体となる初めての小水力発電事業となり、完成後は静岡県から農業水利施設を管理する大井川右岸土地改良区へ譲与される予定です。

鈴与商事の電力買取によって得られる売電収益は、大井川右岸土地改良区が管理する用水路や揚水機等の土地改良区施設の光熱費や点検補修等の維持管理費に充当される予定であり、大井川地区の環境整備などへの貢献にも繋がるものとなります。

鈴与商事は、平成26年4月の新電力事業の開始以来、太陽光電力を中心とした電源構成で事業運営を行ってまいりましたが、小水力電力を新たな電源として取り込むことで、再生可能エネルギー電源を中心とした電力供給に弾みをかけると共に、地域で生み出される再生可能エネルギーを地域に供給する「地産地消モデル」を通じて地域貢献への取り組みを強化します。

今後も、鈴与商事では再生可能エネルギー電源を多く活用した新電力事業を積極的に推進するため、他社からの電力調達に加え、電源構築も含めて検討して参ります。

以上

<小水力発電事業の概要>

事業主体：静岡県

発電事業者：大井川右岸土地改良区（静岡県菊川市加茂 4905 番地の 2）

※同改良区は、農業用水施設の整備・管理を目的として設立された組織となります。

対象発電所：①西方発電所（静岡県菊川市西方地内）

②伊達方発電所（静岡県掛川市伊達方地内）

発電規模：①西方発電所（最大出力 170 kW）

②伊達方発電所（最大出力 142 kW）

想定発電電力：計 1,855 千 kWh/年 程度（一般家庭 500 世帯分の年間使用量相当）

事業開始予定：平成 28 年 3 月（西方発電所）、同年 6 月（伊達方発電所）

事業期間：20 年間（固定買取期間）

<位置図>

①西方発電所（静岡県菊川市西方 6811 番の 5）



②伊達方発電所（静岡県掛川市伊達方 658 番地の 8/658 番地の 9/721 番地の 3/722 番地の 3）

